

外来診療のご案内

診療時間	月	火	水	木	金	土日・祝
9:00 ~ 12:00 (受付 8:30~11:30)	渡邊 裕志	渡邊 裕志	渡邊 裕志	成田 渉	今田 元	休診
午後	休診					

新患を含め、外来リハビリをご希望の方は**完全予約制**です。
事前にお問い合わせください。



予約・お問い合わせ **022-351-8118**

[受付時間] 9:00 ~ 17:00 (月~金)

編集後記

仙リハファームを覗いているうちに、自宅でも何か育ててみたいと思うようになりました。植物に興味を持たず、本当に縁のない生活でしたが、我が子の食育にもなるかと思い一念発起。我が子も私も大好きなミニトマトを育てることにしました。植物を育てるのは小学生の頃のアサガオ以来…。枯らしたらどうしようと不安になりながら毎日水をやり、出勤前と帰宅後に観察。心配をよそに実は鈴なりになりました。赤くなったものから収穫して獲れたてを味わっています。

超初心者の私にとっては、プランター1つのお世話もなかなか大変です。こうして少しばかりの苦勞を知り、食に関わる方々の偉大さを痛感しました。

地域医療連携室 大川



我が家のトマトです



Link!



2024.7 Vol.25



Topics

買い物訓練の再開

Notice

歩行神経筋電気刺激装置 L300Go

就任挨拶

2024年4月1日より、辻美香子看護部長の後任として、仙台リハビリテーション病院、看護部部長に就任致しました、平美穂と申します。

今年は4年ぶりに新人看護師1名の入職者を迎え、看護部総勢53名のスタッフでスタート致しました。就任の挨拶と共に、当院の看護部理念を以下に紹介させていただきたいと思っております。

《当院看護部理念》

“「その人らしさ」を大切にし、豊かな感性と、思いやりをもって、信頼される看護を目指します。”

《基本理念》

1. 個人の尊厳を尊重し日常生活を支援します。
2. チームで立案する退院支援計画及び地域連携への調整など切れ目のない医療・看護を提供致します。
3. 多職種で情報共有し、患者様の目線に合わせたリハビリを提供致します。
4. 安全で安心な看護・介護を提供いたします。
5. 教育・研修を充実させ、看護の質の向上に努めます。

今後もこの理念に基づいて、看護部を始め多職種で連携を図り、近隣のみならず、遠方より入院されている患者様が当院を選んで良かったと思って頂けることはもちろんのこと、看護職員にも選んで頂ける病院を目指します。入院中もですが退院後も住み慣れた地域で安心して過ごして頂けるように職員一丸となって支援していきたいと思っております。

また、現代社会は少子高齢化により、これから生産人口が減少する中で人材不足が加速することが予測されています。そんな中で限られた時間と人員において、どのように働くかは重要な課題であると考えます。看護の質の維持、向上を目指しながら、医療チームの一員として看護部組織が病院運営と地域医療に貢献できるよう努力したいと考えますので、今後とも皆様からのご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

看護部長 平 美穂

医療法人社団脳健会
仙台リハビリテーション病院
地域医療連携室

〒981-3341 宮城県富谷市成田1-3-1
Tel: 022-351-8118 (代表) 022-346-8497 (直通)
Fax: 022-351-8126
ホームページ: <http://www.sendai-reha.or.jp>



仙台リハビリテーション病院
ホームページ

[関連病院]

仙台東脳神経外科病院
〒983-0821
宮城県仙台市宮城野区岩切1丁目12-1
Tel: 022-255-7117 Fax: 022-255-7760

買い物訓練の再開

作業療法の‘作業’とは、とても幅広い活動が含まれます。食べる、入浴する、仕事をする、遊ぶ、料理をする…人の日常に係るすべての活動を**作業**と呼びます。障害などによってそれを行なうことが難しくなっている人を対象に、作業療法士が作業そのものを練習したり、心身機能の回復や維持の手段として**作業**を行ったりする。それが作業療法です。

コロナ禍では様々な制約があり、そのことは患者様の**作業**に大きく影響しました。新型コロナウイルス感染症の位置づけは、令和5年5月8日から5類感染症となり、その後は人が人らしく生活することの制約も徐々に軽減してきたと感じています。なかでも買い物は、当院へ入院される以前から行っていた患者様にとってはとても重要な**作業**であると考えます。

作業療法士は買い物訓練を行うに至るまでに、ICF（国際生活機能分類）モデルに基づき、その方の健康状態、心身機能・身体構造…等を評価し、ご本人にその作業が必要なこと、その遂行状況の予測を立てたうえで介入を行います。

先日、ご夫婦で入院された患者様の買い物訓練に関わったスタッフから話を聞く機会がありました。当日は晴れ、スーパーへ向かう道中も会話が弾み、とても和やかな雰囲気を楽しそうなお様子でした。介入前にもととの個人・夫婦間での役割を確認したところ、買い物のときは奥様が野菜を選び、旦那様が物を運ぶ役割だったそうです。買い物訓練の結果、退院後も実用的な買い物が可能であり、自宅に帰ってからも病前と同じ**作業**を遂行できることを確認し、患者様が「買い物できたね、家に帰っても大丈夫だね」と笑顔で話されていたのが印象深いものだったそうです。介入した作業療法士からは、「患者様が自信をもって自宅退院することができました！今回買い物訓練は入職して初めてですが、関わることが出来て本当によかったです」とのことでした。

今後も患者様の社会復帰に向け、質の高いリハビリテーションを提供できるように努力し続けたいと考えます。

リハビリテーション部 作業療法士主任 金澤 聡

仙リハ コラム

医療安全管理対策委員会 院内研修をしました

『高齢者の体の特徴をふまえた熱中症の対策について』というテーマで、当院院長による院内研修が開催され、多職種が参加しました。

平均気温は年々高くなり、それに伴い熱中症患者の搬送数や死亡数も増えています。気温があまり高くなくても、湿度が高いと熱中症になるリスクが上がることを学びました。

特に高齢の方は暑さに気づきにくかったり、体温調節に影響を及ぼす薬を内服していたりと、熱中症重症化リスクが高いために周囲で十分に気に掛ける必要があります。

東北でも、数年前には考えられなかったような気温が続きます。自分も周りも安全に過ごせるよう気を付けて乗り切りたいものです。



歩行神経筋電気刺激装置 L300Go

理学療法部門では、日々の臨床場面を通じて、科学的な根拠に基づく高度な治療を提供するために努力しています。その取り組みの一環として、今年の5月からは、歩行中に使用できる電気刺激装置であるL300Goを導入しました。この装置は、写真に示されているように膝下に取り付けられ、通電することでつま先を持ち上げることができます。主に、脳卒中等でつま先を自力で持ち上げることが困難な患者様が適応となります。この装置は歩行中に自動的に通電されるシステムを採用していますが、患者様の歩行状況に応じた適切な調整が必要です。

そのため、理学療法士が歩行パターンを細かく観察し、適切なタイミングで通電されるように調整します。このような個別化されたアプローチにより、

患者様の治療効果が最大限に引き出されるとともに、安全性にも配慮を行います。常に最新の技術や治療法を取り入れることで患者様により良い結果を提供できるよう努めています。



※なお、電気刺激装置を用いた治療には一部の禁忌事項があります。加えて、主治医による指示が必要となります。

リハビリテーション部 理学療法士副主任 伊藤 光



ご質問にお答えします！



Q 面会はできますか？

A 事前にご予約をいただき、3名まで病棟食堂で面会可能です。予約方法など、お気軽にお問い合わせください。

Q 病院への行き方は？

A 電車、バスでお越しの方は地下鉄「泉中央駅」より宮城交通「新富谷ガーデンシティ」行きのバスに乗り、「自治研修センター前」から徒歩3分となります。

